

令和3年度 岐阜県立土岐紅陵高等学校
学校運営協議会（第3回） 会議実施報告書

- 1 会議名 土岐紅陵高等学校 学校運営協議会（第3回）
- 2 開催日時 令和4年2月15日～3月7日
- 3 開催場所 書面開催
- 4 参加者 委員 佐々木 啓 子 土岐商工会議所事務局長
仙石 守 一 土岐市立下石小学校長
土本 泰 至学館大学
長瀬 教 行 土岐市立西陵中学校長
西尾 咲 子 下石女性の会会長
山岡 哲 土岐市まちづくり推進課長
- オブザーバー 林 尚 志 県立高校地域連携コーディネーター
- 学校側 下 平 義 広 校長
安 藤 範 和 教頭
河 村 拓 士 生徒指導主事
薄 田 直 樹 進路指導主事
加 藤 智 子 活性化推進部

5 会議の概要（協議及び審議事項）

- (1) 令和3年度の学校評価について
- (2) 令和4年度の学校運営基本方針等について ……承認
- (3) 教育指導の重点及び学校経営計画について ……承認
- (4) スクール・ポリシーについて ……承認
- (5) 令和4年度地域連携活動に係る活動計画案について ……承認
- (6) 「生徒心得」の見直しについて ……承認
- (7) 校則等の見直しについて ……承認

委員からの意見

- ・令和3年度の学校評価について
- 学習指導について

意見1：ICTの取組に対する改善の方向が示されている点がよい。

意見2：家庭における学習習慣が確立していない生徒にとっては対面授業の必要性を感じる。

意見3：中学校でもタブレット端末を活用した授業をどの教科でも行っている。コロナ禍の影響を考えながら研究の柱に協働学習を取り入れ、主体的・対話的で深い学びができるよう進めており、高校でもさらに力を付けられるとよい。

・生徒指導について

意見1：基本的なマナーやモラルは今後社会人として最も重要なことであり、積極的に取り組んでほしい。

意見2：いじめに関する問題がしっかり対応できているのがありがたい。

意見3：分掌にとらわれず、生徒にとって最善の支援をお願いしたい。

意見4：「いじめ」について、保護者の評価が上がっている一方で、生徒の評価が下がっている点が心配である。

意見5：コロナ禍による厳しい状況下で、達成度の指標が高く無理があったように感じる。

・進路指導について

意見1：地元を知ってもらう取組を取り入れ、地元で働く良さを理解してもらえるとよい。

意見2：コロナ禍でキャリア教育を行うことが難しい状況である。状況が落ち着いたところで、キャリア教育に係わる様々な交流が図れるとよい。

意見3：保護者と生徒の評価の差が気になる。

意見4：進路指導に係る成果を感じる。地域社会に貢献できる人材の育成、自分で進路を切り開く力の育成を推進してほしい。

・家庭（地域）との連携活動・総合学科推進・広報活動について

意見1：コロナ禍ではあるが、隣接する小中学校との生徒交流について検討してほしい。

意見2：地元の高校生が地域の祭りや行事などに力を貸してくれるようになると助かる。

意見3：課題解決学習は、郷土愛を育むためにも非常に意味深い取組であると考え。市行政としても引き続き協力していきたい。

・令和4年度地域連携活動に係る活動計画案について

意見1：下石や妻木の地域は公民館との関わりが強く、公民館とつながることで、地域行事などを活用した活動が継続的にできるのではないかと。

・「生徒心得」の見直しについて

意見1：生徒が自分たちで判断する内容に見直されていることがよい。

意見2：より具体的で解りやすい表現で見直されていてよい。「身だしなみ」という本来の意味からすれば、高校生として必要な心得である。

意見3：生徒が考えて行動できる校則にすべきと思うが、曖昧な表現とすると判断が難しくなってしまう、守られないのではないかと。

6 会議のまとめ

第3回学校運営協議会において、すべての審議事項について全委員より承認が得られた。今回得られた意見を来年度の学校運営に生かしていきたい。